

## 平成 21 年度第 5 回宮前区区民会議 公園・地域づくり部会摘録

□開催日時 平成 21 年 10 月 13 日（火） 18：15～20：20

□会 場 宮前区役所第 2 会議室

□参加者 佐藤部会長、久保委員、田邊委員、吉岡委員、福本委員、持田委員、目代委員（以上、公園・地域づくり部会員 7 名）

永野委員長（以上、オブザーバー 1 名）

岩佐企画課長、成澤主査、鈴木職員（以上、宮前区企画課 3 名）

福田研究員（株式会社シー・エス・ケイ 1 名）

□傍 聴 1 名

□開 会

司会：企画課長

岩佐企画課長が、開会のあいさつをしました。

会議の公開について、委員の了承を得ました。

事務局が、前回の討議内容を確認しました。

永野委員長 青少年指導委員会のディスカバーウォーク宮前は 4 地区から公園まで歩き、公園で遊びをします。今年度は、来年の 2 月 21 日（日）に開催が決定しました。青少年指導委員会にも、区民会議でこういうことを考えていると伝えました。青少年指導委員会だけでなく、一般の人に広報し、参加してもらうことも可能です。公園の日とタイアップすることも可能です。

### 1 議事

進行：佐藤部会長

#### （1）部会報告書（案）について

佐藤部会長 飛森谷戸の活動に参加しています。定例会のときに、モデル地区としての受け入れが可能か相談をしたところ、受け入れは可能だと回答がありました。ただし、人を出して完全に担うことは難しいということです。次年度の冒険遊び場をひろげようという委員会の中で、その辺を煮詰めるのであれば、最初の候補地としてのモデル地区の受け入れは可能ということでした。

#### □提案 1 公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～

佐藤部会長 4 ページ「活動内容を PR するプレートの設置」で、公園緑地管理運営協議会（以下、管理運営協議会）以外の活動、たとえば愛護会の活動にもプレートを作れたらと思います。この表現では、公園体操や自主保育限定の印象を受けます。愛護会が活動をしている公園の中にも、掲示板の設置までいいと考えるところが出てくるかも知れないので、簡単に PR できるものがあればと思います。清掃も自由に参加するなど、愛護会のサポート体制が作れたらと思います。

福本委員 掲示板を作るのはいいですが、設置場所です。掲示板をつくることで、公園がごちゃごちゃした印象になることがあります。梶ヶ谷の公園に行くと、あまりにも掲示板、とくに注意書きが多すぎて違和感があります。回りの垣根などにうまくとりつけるなどもあるでしょう。

佐藤部会長 二通りの選択が出ていると思います。掲示板を設置したいと申し出があったところに設置する形なので、大丈夫かと思います。

事務局 提案の中に、美観に配慮しながら設置しますなどの一文を加えましょう。

## □提案2 「冒険遊び場」をひろめよう！

佐藤部会長 モデル地区を作り、それに向けて支援するという話はどうですか。検討委員会を運営したときに、まずモデル地区をどうするかということから話しが始まると思います。受け入れるところがあるなら、そこをモデル地区にして進めた方が順調に行くと思います。検討委員会の構成団体が上がっていますが、付け足した方が良い団体はありますか？

久保委員 モデル地区には有馬ふるさと公園ポレポレも入っていますね。検討委員の公募は無しですか。

永野委員長 モデル地区を作るのは理想ですが、どこをモデルにするかは検討委員会で協議してもらい、手をあげるならあげてもらいで、委員会が各地域に呼びかけ、そこを入れてどう進めるかを協議するのが良いでしょう。そういったことを、委員会主導でやってはどうでしょう。区民会議としては細かくどの公園とは決めないで、委員会で決める。

佐藤部会長 私は、要綱ができるまでに1、2年かかるイメージがあります。ポレポレが既にきつい状態にあると聞いていたので、早めに援助できるようにと思いました。

永野委員長 「冒険遊び場」の要綱は、世界的にも日本にもあるから見本を取り寄せる。ポレポレはもう活動をしていますから、要綱や規則でそれを裏付ける追加をしてあげるわけです。要綱ができるまで、ポレポレが何もできないわけではないでしょう。

福本委員 冒険遊び場を作るとなると、一般の遊び場よりも広いスペースが必要になります。現在、乳児や子どもたちが遊んでいるところと一緒にするのは難しいです。現在公園としてはあるけれども、使われていない公園があります。そういう公園をピックアップし、その中からモデル地区を作らないと、今利用されている公園では入りきれませんし、利用者から問題が起きます。

永野委員長 365日この公園を冒険遊び場とするのか、特定の日を冒険遊び場とするのか。支援する人が集まる日を冒険遊び場とするのか。そうすれば、他の団体との調整は可能でしょう。世田谷には365日冒険遊び場のところもあります。

福本委員 夏にボーイスカウトが60～70人来て、立ち木にロープを渡したりしていました。ボーイスカウトは指導者がいます。自分たちで道具を持ちこみます。ロープと大きな網を木と木の間に渡していました。普段はまったくそこの公園は使わないです。

佐藤部会長 とくにモデル地区は設けず、委員会にお願いし検討するというのでいいですか。

事務局 検討委員会にポレポレと飛森が参加すると書いてあります。声をかける以上、区民会議としては引き受けてくれるといいなというニュアンスで書いても良いのではないのでしょうか。まっさらな状態よりも、一緒にやりたいという意思表示をしても良いでしょう。トライ&エラーというか、検討は委員会でやり、実際に有馬や飛森で実施してみて、その結果をフィードバックするのがよいのではないですか。

吉岡委員 地元で防衛庁の一部が開放された場所があります。3000平方メートルくらいです。そこを冒険遊び場として持てるとよいです。解放されたばかりで、地形もそのままになっています。

久保委員 多摩区では区民会議の提案から外遊び部会があり、生田緑地で開催しています。地域でうまく回っているようです。プレイパークにこだわらず、そういう形でできるとよいです。

佐藤部会長 水沢の森の人も興味があるという話でした。

永野委員長 検討委員会でこういうことをやろうとなったときに、こういう団体に協力をお願いしようということが出てきます。この場所ではこういう団体がいつも活動しているから、そこでやろうとなります。そのときに、もう少し多くの団体にも関わってもらおうということで企画ができてきます。検討委員会に入れるかどうかは別の問題です。水沢の森は、検討委員会に入ってもらって

もいいかも知れません。

佐藤部会長 まだ一人の意見です。みんなに意見をはかり、興味があり、うちもということであれば入りたいということでした。

事務局 そうなると、個々よりもグリーンフォーラム 21 に投げかけてみた方が良くかも知れません。

佐藤部会長 文面にはモデル地区として想定される場所としてあげた方が良いですか。モデル地区として想定される公園が何箇所か見つかったので、それに向けて委員会を立ち上げるとした方が良いですか。

永野委員長 具体的な公園の名前というなら、たとえば、宮崎第 1、第 4、有馬、鷺沼など大きなところが想定できます。ただ、そこだと決めてしまうのではなく、緑地だけでもできるわけです。場所を決めてここは公園遊び場というのではなく、活動自体を公園遊び場という方法もあります。どちらにしても、支える団体が必ず付くことが条件になります。

佐藤部会長 公募はどうしますか。

久保委員 私は乳幼児の外遊び広場を宮崎第 1 公園の横でしています。大きなところで大きな子を対象とする冒険遊び場も良いですが、幼児期に外に出ないお母さんが公園に出る形で何かできないかと活動しました。公募があれば応募しようかなと思っていました。公園で活動している人もいます。プレイパークに興味を持っている人もいますし、参加したい人もいますかと思えます。そういう人の枠も入れておいてほしいです。

永野委員長 公募があった方が良いでしょう。

事務局 予算的な問題があり、人数を考えました。公募は基本的にしなくてはいけないことになっていますので、1 行目に入れましょう。会議の適正な規模もあり、選考せざるを得ないことはご了承ください。

佐藤部会長 行政機関が 4 つ出ています。企画課の隣は運動普及推進委員の人が出るのではということですか。体操の人という話が出ていたかと思えます。

事務局 運動普及推進委員は、ごく一部かなという印象です。この 4 つはストレートにかかわります。

佐藤部会長 「冒険遊び場」については、呼びかける団体で立ち上げていただき、行政とのかかわりの中で集まった時点で企画することにし、幅広くとらえましょう。公募は選考もありますが行うということです。枠は予算などで変わりますね。

事務局 要綱上は 2 割です。

佐藤部会長 公募の人数は事務局にお任せしましょう。

### □提案 3 もっと公園で遊ぼう～宮前区公園の日の設定～

佐藤部会長 毎月行うかどうかの議論が、前回途中で終わった気がします。

久保委員 「遊ぼう」と付けますか？「冒険遊び場」があるので、ここで遊ぼうとなるよりも、健康体操などのイメージがわく文言の方がよいと思います。

佐藤部会長 子どもばかりの印象があります。

久保委員 ガーデニングなどもありますね。

永野委員長 「公園を楽しもう」でしょうか。あるいは、「公園で楽しもう」。

福本委員 公園で楽しもうとなると、それにふさわしい公園にしないとイケませんね。

持田委員 父親と子ども、母親と子ども、家族で気軽に行けて、何も参加しなくても、楽しい、和やかな気分になって帰ってこれる公園があれば行きたくなるでしょう。子どもたちが興味があるのは

テレビゲームなので、それ以上のものとなるとイベントになってしまいます。大人は花がきれいなどで見に行きます。子どもを惹き付けるものを置く。子どもが行けば親もついて行くでしょう。

目代委員 公園自体に目が行っていないし、会話にも出てきません。子育て世代は砂場などで遊びますが、私たちの世代は出ません。広報してもらおうとよいでしょう。

佐藤部会長 「公園を知ろう」ではインパクトが小さいですか。

目代委員 写真展の話などありましたね。公園に目を向けてもらうことです。

持田委員 多摩川の給水塔には、花見や花火大会の時に大勢集まります。ポイントがあると、その日に合わせて行くでしょう。

福本委員 公園というと、小さい子どもとお母さんが来ていることしか頭に浮かびません。今の公園は、何所帯かのお母さんと子どもがうろちょろしているイメージです。公園そのものが狭いのでしょうか。その中で、遊具で遊ぶ子、散歩する子と、スペースがないです。公園の存在が薄らいでいます。

永野委員長 公園で花を植える活動をしている人がいます。少年野球の練習や公園体操など、それぞれがバラバラにやっています。団体に聞いても自分のやることしかイメージがありません。それを調整し、情報発信をするのが、管理運営協議会です。つなげるイベントや使っている団体が情報交換をできる企画をしないと、自分たちだけになります。

事務局 公園イベント情報は、公園事務所に行けば、町内会でこんなことをやりますとわかります。管理運営協議会からの情報提供もあります。歳時記に載らない情報を載せることで情報の共有が図れます。

永野委員長 公園の日と決めたのは横の連携を意識化する日という意味が強いです。ディスカバーウォーク宮前はいろいろな遊びをやるので、他の団体にも参加してもらい、意識化する宣伝をしたらということです。

佐藤部会長 公園に目が向いていないので、目を向ける目的が当初はありました。

福本委員 ウォーキングの参加者は多いです。

佐藤部会長 タイトルはまた後で検討しましょう。

内容はどうですか。第○曜日はどうしますか。永野委員長は、前回毎月とした方が周りの方が取組やすいのではないかといいました。歳時記にも毎月情報が載るといことです。

永野委員長 第○曜日と決めるのは難しくても、月に1回くらい、日にちは動くがやれると、支える団体は冠をつければ良いのでやりやすいでしょう。

福本委員 公園の日が決まれば、地域でもイベントを考えるのではないのでしょうか。午前中はどこの公園、午後はどこの公園など、小動物を連れて歩くイベントも良いでしょう。鳥やうさぎは簡単に手に入ります。日が決まればそれに合わせます。

目代委員 管理運営協議会の草むしりなどもそれに合わせて開催しても良いですね。

事務局 この場では決まらないと思うので、たとえば公園事務所に活動が現実としてどのあたりが多いかを聞き、それに合わせて決めますか？ただ、特段決まっていなかったと思います。決まっているのは、統一美化と多摩川美化です。統一美化と多摩川美化の午後とすることもあります。

福本委員 月4週あるうちのどの週が家庭で行事が少ないか。月末か月頭かの選定で、違ってきます。

吉岡委員 前回の会議では、年に2回くらいで固まったと思っていました。

佐藤部会長 私も年に2回くらいが良いと思います。

福本委員 年に2回ならPRしやすいです。毎月となると流れてしまう印象があります。

吉岡委員 前は4月と9月でした。

福本委員 4月は花見で公園が一番にぎやかです。

佐藤部会長 逆にそういう日に来てもらうこともあるでしょう。

福本委員 邪魔者扱いされます。場所取りがすごいです。

佐藤部会長 毎月第2とかなるとそこで定期活動をしている人は違う公園に行けなくなるので、毎月一回は何かをするとした方が動きやすいかと思います。

福本委員 毎年落ち葉の季節には、野球チームがイモ焼きを申し込んできます。

久保委員 掃除と一緒にやると良いですね。

佐藤部会長 毎月やることのメリットとデメリットを出して考えましょう。

福本委員 毎月だとマンネリ化します。

田邊委員 横浜のプレイパークのように、定着すれば毎月でもよいです。それまでが大変です。継続して持続することをどうするかでしょう。年に1回から、2回、3回とするなら良いですが、最初から毎月1回となると、持続させることが大変です。

佐藤部会長 公園の日という大きなイベントは年に1、2回として、歳時記は毎月発行することは可能ですか。

事務局 イベント情報についてはそのつもりです。

佐藤部会長 それであれば、大きなイベントとしては年に1回、2回でも良いでしょう。

事務局 体操やフリーマーケットもあります。テレビの撮影などもあります。それを毎月掲載します。歳時記とかぶるものは両方載せてもよいでしょう。公園体操の一覧みたいなものがあってもよいです。

久保委員 新しいものを作るのは大変です。既存のイベントの中で、たとえばディスカバーウォークが本当に公園の日にふさわしいイベントであれば、その日を公園の日として宣伝してはどうでしょう。ディスカバーウォークを、地域コミュニティの中で違う形に変えていく方が、イメージが付きやすいです。公園を知ろうという目的があります。公園に入らない地区もあるので、その時はこちらの地区でやろうなどとした方がよいです。

永野委員長 そういう考えもあるでしょう。もう一つは、花を植えるなど他に公園を利用する団体もあります。そういう団体は、ディスカバーウォークには入りづらいです。一緒にネットワークを組みたい人たちが参加できる、花植えや公園体操に目を向けてもらう意味から言うと、イベントとはくっけずに、公園遊び場の日にした方がよいかと思います。

佐藤部会長 毎月やることはマンネリ化するなどご苦労もあるので、その部分は歳時記に取り上げて、大きなイベントとして提案があったのはディスカバーウォークなどでできないかということです。

永野委員長 ディスカバークウォークはやさしい公園利用と合いません。歳時記に、公園遊びの日連携イベントのように載せてもらうのは良いでしょう。

佐藤部会長 統一美化は何月ですか。

事務局 6月第一日曜日が多摩川美化、9月の最終日曜日が統一美化です。統一美化に合わせると、こんなイベントをしますということで、掃除に来ない人も引き出せるかも知れません。

佐藤部会長 清掃活動をする方にもプラスアルファがないと、区民会議で公園の日を設定しましたから協力をお願いしますというだけでは難しいでしょう。メリットがないとご理解はいただけません。

事務局 掃除だけでも大変なのにイベントまでということもあります。

佐藤部会長 実際に管理している方は、区民会議の提案として出たと言ったときにどうでしょう。

吉岡委員 それは合わせてくれるでしょう。

田邊委員 虫歯の日が6月4日などとあるように公園の日を決めてしまうか。公園ごとに決めるのも一つの方法でしょう。今やっている交流事業からスタートして、別の日に公園の日を設定するのも一つの方法です。無理に公園の日を作りそこに何かを持っていくことになると、皆さんが乗るか乗らないかがあります。11月に落ち葉広いをしますが、その時に焼き芋をします。他の自治会は夜ですが、私たちは10時から1時までです。子どもたちが明るいところで焼き芋、餅つきをし、回りの人が集まって来ます。月日を指定されないなら、私の自治会はその日を公園の日にして、そこから次に分かれていくものがあれば、別の公園の日にすることも一つの方法かと思います。公園ごとに特色のある活動があります。横浜もその場所ごとに違います。公園ごとに特徴を持ってやることでもよいと思います。

統一的に公園の日というのも、確かに覚えやすく良いとは思いますが。決められた日に何を持っていくのかです。

持田委員 公園に携わっている人たちは、日にちが変わっても公園の日と頭にあるでしょう。区民全体では、日が決まっていなくて意識が薄れます。

永野委員長 年に2日くらいなら日にちを決めても、定期的の実施している花植えや公園体操はできると思います。ただ、地域の活動団体は、活動に合わせて公園の日を決めた方がやりやすいです。公園の日連携イベントなど冠をつけた方がよいと思います。公園の日を2日くらい決めて統一的にやり、それ以外は連携イベントとして実施する。

事務局 たとえば統一美化の前と後を1ヶ月くらい公園月間にする、春と秋で良いでしょう。10月と4月を公園月間です。

佐藤部会長 月間の方が動きやすいです。歳時記みやまえを、公園に向けたなんとかと入れてもらうと良いでしょう。毎月のものに関連イベントとするとわかりづらいです。良い副題が見つければ、毎月公園の日関連イベントと付けなくても良いでしょう。

田邊委員 公園の月でも良いですね。

佐藤部会長 そうです。それ以外は、毎週、毎月やっているの、歳時記に載せる。その方が忘れられないし、取り組みやすいでしょう。毎年何月は公園に意識を向ける日だと定着します。何日とするとならぬものがあるので、月単位なら参加してもらえます。2回のうち、どちらかでも良いと緩やかにすることもあります。地域にも還元されるという捉え方をしてもらえるとよいです。

事務局 たとえば、4月は転入者が多くお花見を兼ねて、11月は落ち葉があるので掃除がてら焼き芋をするなどです。

事務局 自分たちの世代は公園に行くことが生活にないです。自分は静岡県出身ですが、宮前区にきたときに、桜といちょうが多いと思いました。4月に花見をし、11月に焼き芋大会をしていれば、面白いです。それとは別に日常の活動は、歳時記の公園版に載せる。これまでは、近所の人しか知らなかった活動を、時系列的に並べることで知ってもらえます。

佐藤部会長 楽しいものがあると行きます。花見の時期の4月と落ち葉の11月を公園月間とし、後は歳時記宮前の公園版で補うということで良いですね。

#### ※公園・緑地管理運営行議会について

佐藤部会長 永野委員からメールが来た件です。

永野委員 3 ページの解決すべき課題の中に、維持管理についてとあります。これについては何回も話をしましたが、具体的な課題解決策がくれませんでした。公園の利用をコーディネートする役割が重要です。6 ページ目提案 3 の方向性に、管理運営協議会についての記載があります。これを方向性ではなく、提案として入れてはどうかということです。提案 4 として提案してはどうでしょう。(配布資料参照)

具体的な提案は、まず管理運営協議会への役割の周知活動です。管理運営協議会自身に対しても、区民に対しても、しないといけません。委員自身が、掃除をすれば良いと思っています。次に、公園を利用している団体と管理運営協議会との情報交換の場を設定する。さらに、管理運営協議会への公園利用者、団体及びボランティア等の参加を促進するという事です。管理運営協議会のメンバーは町会に丸投げしている印象があります。実際に公園を使っている団体が、メンバーとして参加できるようにします。最後に、年に 1 回研修会を開催する。管理運営協議会はたんに維持管理だけでなく、遊びの企画、公園利用の調整などをできるということを研修会にプロを呼んで学んでもらいます

田邊委員 管理運営協議会について、各全町連合会の自治会、町会の方が知っていないのではないかと思います。自治会がタッチしているから一緒に行けるメリットがあります。公園の中で、管理運営協議会があるところで自治会がタッチしているところはないと感じました。大きな公園は、旧地主の寄付などでできています。そうすると、自治会、町会の長と一緒にやれば活発になりますが、その点が薄いです。全町連合会長の集まりのときに、管理運営協議会があるから、自治会も一緒にタッチしてくれということをお願いして、始めの頃に行政にお願いしました。どんなにアピールしても、他の人は推して知るべしではないでしょうか。

事務局 管理運営協議会は、町会の参加が必須です。入ってないところはないです。ただ、その存在をすべての町会長が知っているかは、知らない人もいるかもしれません。これまでは、愛護会活動を積極的にしている公園に管理運営協議会の立上を呼びかけました。掘り起こししかないのが実態です。

佐藤部会長 前回、管理運営協議会に活性化を押し付けるのは上からの物言いになるという話と、宮前区単独でできるのかというポイントの 2 つがありました。4 つ提案があるので、1 つずつ検討しましょう。

周知活動ということですが、大きな紙に管理運営協議会の内容を説明するものが作れないかと前回提案しました。公園を通る人と管理運営協議会の人が見て、自然に理解をもらえんと思ひ提案しました。周知活動としてよい案があれば、意見をいただきたいです。

永野委員長 管理運営協議会自身が、自分たちが何をするかわかっていません。掃除と鍵の管理の意識しかありません。

佐藤部会長 年に何回かの管理運営協議会の集まりで、鷲ヶ峰公園の活動を紹介したことがありますよね。

吉岡委員 活動報告書を出します。管理運営協議会を作ったときの人はわかっていますが、自治会長が変わると次の人はわかりません。知ってもらうことが必要なら、何かしないといけません。

佐藤部会長 公園事務所の開催する説明会では、説明があるんですね。そこに行くと、管理運営協議会の仕事はこういうものかという説明はありますか。毎年集まるものへの周知活動はないんですね。

吉岡委員 細かい説明は毎回はないです。

持田委員 年に一回呼ばれる町会長はメンバーであり、自分が管理運営協議会だとわかっているんですよ。

事務局 自治会長イコール管理運営協議会ではないです。

永野委員長 そこで、掃除をするといくら出るという話は頭に残りますが、企画や調整までして良いと説明をしているのかどうかです。

事務局 実態としては、ここが汚い、あそこが汚いという話です。

福本委員 そこに出席した人が町会に戻って話をしたこともないし、私は聞いたこともありません。

佐藤部会長 それで方向性の一番上に入っているんですよ。

事務局 なぜ提案にしていないかという、提案 1～3 は区役所、あるいは区民が主体になってできることです。この内容では環境局への要望になります。区民会議は地域の課題を自ら解決するための手法を調査審議する場です。これをストレートに提案という、公園課にこれをやってくださいとなるので、区民会議の趣旨からは避けたいということです。そこで、こんなことをすると良いのではないですかということで、方向性という形で示しました。区役所と環境局の役割分担を明確にしないとイケません。

田邊委員 来年度の4月以後は、公園管理事務所が一緒になりますね。

事務局 大きな制度を考えると本庁です。管理運営協議会の制度を考えると変わらません。仕切るのは公園管理課になると思います。政策的な判断は本庁になります。

佐藤部会長 永野委員長はこの4つに関しては、区民が動くというよりも行政に動いてもらいたいという行政側への提案にしたいということですよ。

永野委員長 行政が腰を上げないと動かないのは多いです。ただ、利用団体と管理運営協議会の意見交換は区民側のことです。管理運営協議会に利用者や団体が参加することもそうです。要綱を変えないとできないということになると違ってくるかも知れません。メンバーの選び方が誰も知らないです。そうではなく、利用者を入れなさいと区民会議として発言しないと、これは市の局の問題だからと放っておいては動かないです。区から区民会議としてこういう要望があったと伝えてほしいです。

事務局 提案になると、第1期のときもそうですが、できなかったときのことを考えてしまいます。

永野委員長 区で単独で研修会をできないですか。

事務局 道路公園センターがあればできるかも知れません。表現の強さの問題です。大上段に振りかざすのはちょっと難しいです。

佐藤部会長 三段目の公園遊び場等のボランティアの参加促進であれば、冒険遊びの中でボランティアを育てるとか、派遣するような手法は取れますか。それなら行政側に訴えるだけでなく、公園遊びのボランティアを育成し、それを年に1回の管理運営協議会の方が集まったときに、区民会議として冒険遊びの育成をしたのでご利用いただけますという提案はできるのでしょうか。冒険遊びの中に、そういう人たちを作ることを入れる。

事務局 それは大丈夫だと思います。

佐藤部会長 飛森をモデルにしようと話をしたときに、自分たちはプロではないので、冒険遊びをしっかり学んだ人を何人か派遣し、自分たちも覚えて提供することは可能だけれども、あなたたちが冒険遊びを教えてあげてねというのは難しいという話が出ました。そういうことを考えると、養成であったりを組入れれば3番目の参加促進は踏み出せて提案できるのかと思います。

事務局 仮に提案4とするにしても、言葉のトーンを3までとは違い、言い切りではなくゆるくするこ



とであれば、何とかあります。

佐藤部会長 活性化のための支援ということで押していけばどうかと思います。ただ、2番目の意見交換の場の開催になると、その人たちが求めているのかという問題もありますし、振られてもやりたくないということもあるので、提案しても実行は難しいと私は思います。

目代委員 そんな話は聞いてないよと、負担になるかも知れなません。

佐藤部会長 プラカードで良いので、管理運営協議会の趣旨を公園に貼ってもらうことは、提案として入れられますか。

事務局 「この公園は管理運営協議会がやっています」という中に、趣旨を入れるということですね。

佐藤部会長 許可の届けをきちんと出せば火が使えるなどと要綱にありました。ただ、そこまで出すと勘違いする人もいるかも知れません。イベントの企画、調整もできますと、活動内容まで載せていただけたらと思います。

事務局 文章のトーンをやわらかくする形ではできます。ここだけは関係局の政策(?)が強くなってしまいます。他の3つの提案は区役所独自、地域独自でできることなので、その違いが明確にあります。

佐藤部会長 活性化への支援ということで、掲示板があればより活性化されるという意見が出たというふうにして、できればやって欲しいです。

福本委員 今の掲示板は、ダメなことしか書いてないです。こういうことは相談してくださいという形にする。はっきりと、これもできます、あれもできますとすると、「え、これもやるの」ということになります。公園ごとに独自性があります。そうすれば、利用する人も相談してみようと増えるでしょう。

事務局 事務局で今日の議論を踏まえて手直しをし、部会長と確認します。

持田委員 今の意見は、区民会議の本会議で言っても良いですよ。永野委員長の提案は良いと思いますので、提言書として残るかは別に、本会議の場には公園関係者もいるわけですから発言はしてほしいです。

佐藤部会長 本会議は議事録として残り、多くの人目に触れることになりますので、どの程度まで本会議で発言しても支障がないかを事務局と相談します。私たちは、課題を整理して提案したは良いけれど、実際にやっている人たちに嫌な思いをさせてはうまく行かなくなります。区民の方だけでなく、行政の方も、言い方によって担当の人でも協力しようという気持ちの度合も変わってくるでしょう。協力体制があつての提案だとなれば、担当の人でも協力してくれるでしょう。

持田委員 この趣旨に沿った発言を担当者に聞いてもらうことをした方がよいと思います。

佐藤部会長 永野委員長に説明をしてもらう方がよいかも知れないので、企画部会でまた検討したいと思います。

永野委員長 言っておかなくてはいけないことは言った方が良いですね。行政から行政に言うよりも、区民らは言った方が良いでしょう。

事務局 提案4という形でトーンを抑え、作りなおして、部会長とやりとりします。皆さんに郵送してまたご意見をいただき、11月5日の企画部会にはかります。

佐藤部会長 これで本会があり、修正して、区長への報告になります。部会は本日で最後です。

## 2. その他

事務局 11月5日が企画部会ですので、そこで部会長が報告をします。全体会は11月13日です。12

月に区長に提案します。最後の部会ですので、感じたこと、印象を一言ずつお願いします。

久保委員 とても楽しかったです。地域のいろいろなことが部会の中でも出たので楽しかったです。

田邊委員 途中で佐藤委員に部会長を交代いただきました。

福本委員 自治会の中で公園について自分たちでどうしようと考えたことがなかったです。今回たまたまこの部会に入り、これからの活動の勉強になりました。次の役員にも、公園を少し考えてもらいたいと思います。

目代委員 第1期から参加し、宮前区の活性化、宮前区を全体としてを見るということで、歳時記ができたことを喜んでいますが。これまで点と点だったものが面になりました。公園の情報が毎月入り、そこに体操の情報などが入ると、皆さん公園に行くでしょう。公園の情報がでることだけでも大きなことです。その意味で、この部会は良かったです。区民会議で地域の人が宮前区全体に目を向けるきっかけづくりができたと思います。

持田委員 前任者から引き継ぎました。できれば最初から携わりたかったと残念です。いままで知らなかった情報をいただきました。

吉岡委員 自治会のことしかわからなかったですが、ここに出て勉強になりました。とくに公園について教えていただき、良い勉強になりました。

永野委員長 公園からのコミュニティの形成という難しい課題で、漠然とした内容だったと思います。田邊部会長、佐藤部会長ありがとうございました。情報を知って、公園から発信することのスタートに立てたと思います。公園は公共施設ということで、なんでもかんでもダメになっています。行政は、文句に対してはねつけられません。そういうときに、区民から言い返せるような形で公園の運営が進むとよいと思います。昨日こども文化センターのお泊り会をし、ダンボールハウスを作りました。昔は公園でやっていました。外でできれば、火を使い、煮たきができれば、もっと面白いと思います。ここで、公園や子ども本来の遊びを考えるきっかけになると良いです。

佐藤部会長 皆さんは各団体から参加していますが、私は公募で一般的な市民の立場から意見を言いました。途中から部会長を代わり、自分が進行をする立場になり、うまくさばけず迷惑をかけました。皆さんのサポートを得て、今日を迎えることができました。ありがとうございました。

事務局 まだこれで終わりということではなく、あと半年ありますので、よろしく願いいたします。

以上